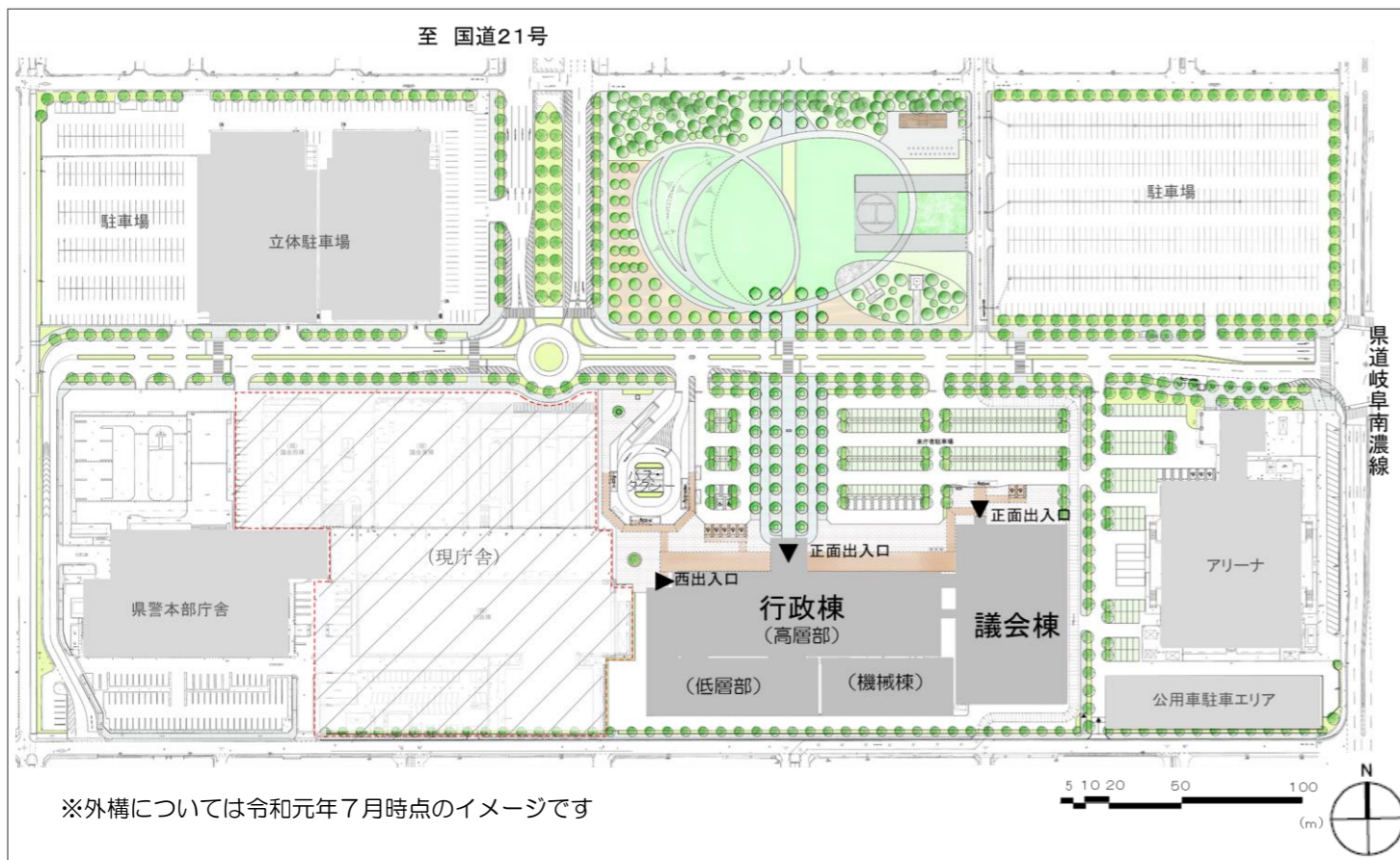
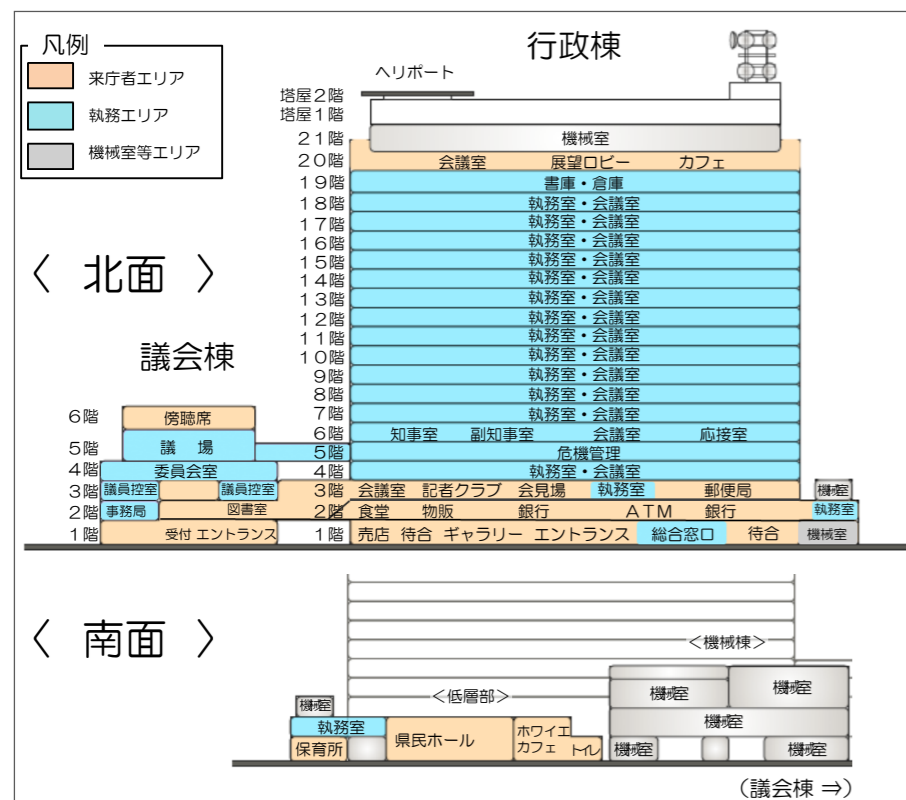


4 配置計画



※外構については令和元年7月時点のイメージです

5 各階の構成



県職員出前トークのご案内

新しい県庁舎の概要については、県職員が県民の皆様が参加する会合などへ直接出向いてお話する「県職員出前トーク」でお聞きいただけます。ご希望・ご関心のある方は、下記までご連絡ください。

- 【ご利用にあたって】
- (1)参加者20人以下でもご相談ください。また、平日夜間や土日祝日等の開催についても、できるだけご希望に沿えるよう対応させていただきます。
 - (2)場所は、主催者でご用意ください。
 - (3)無料でご利用いただけます。ただし、会場賃借料等は主催者の負担となります。

※ご参考HP
<https://www.pref.gifu.lg.jp/kensai/koho-kochu/ken-teian/11103/>



岐阜県 新県庁舎のあらまし

別紙
令和元年7月

令和4年度の竣工を目指して、新しい県庁舎の建設を進めてまいります。県の災害対策の中核拠点として耐震性を十分に確保し、ユニバーサルデザインにも配慮しています。親しみやすく、利便性の高い庁舎として生まれかわり、今まで以上に質の高い行政サービスの実現を目指します。



1 計画概要

行政棟	
延床面積	68,303㎡
建築面積	7,637㎡
構造	鉄骨造、免震構造(一部耐震)
基礎構造	既製コンクリート杭
階数	地上21階、塔屋2階
高さ	106m(他に鉄塔等あり)

議会棟	
延床面積	13,937㎡
建築面積	3,312㎡
構造	鉄骨造、耐震構造
基礎構造	既製コンクリート杭
階数	地上6階
高さ	32m

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)
設計	基本・実施設計						
工事				行政棟			
					議会棟		
移転							移転

建設工事費(予算額ベース)	
行政棟	445億円
議会棟	79億円
計	524億円

※金額は全て税込

岐卓県 総務部 県庁舎建設課 (岐卓県庁3階)
 電話 : 058-272-1111 (代表) 内線 : 2249 FAX : 058-278-3540
 E-Mail : c11119@pref.gifu.lg.jp

お問合せ先

2 コンセプト・基本方針

コンセプト

県政の拠点

行政サービスを着実に担う県政の拠点

「清流の国ぎふ」の象徴

豊かな自然と伝統文化に彩られた本県の魅力を発信

基本方針

□安全で安心な県民の暮らしを守る県庁舎

高い耐震性／災害時の機能維持／セキュリティ対策／質の高い行政サービス

□県民が集い親しまれ、地域の魅力を発信する県庁舎

親しみやすく利便性の高い庁舎／地域の魅力を発信／ユニバーサルデザイン

□環境やライフサイクルコストに配慮した県庁舎

省エネ・省資源対策／ライフサイクルコストの低減・長寿命化／再生可能エネルギーの活用

3 新県庁舎の内容

安全で安心な県民の暮らしを守る県庁舎

高い耐震性

- ・通常建築物の1.5倍の耐震性を確保

災害時の機能維持

- ・特別高圧電力の2回線受電
- ・上水道と地下水の複数水源確保
- ・受変電設備など主要設備の2階以上への配置
- ・危機管理フロアに常設の災害対策本部スペースを確保

セキュリティ対策

- ・個人情報保護等のため、セキュリティゲートを設置

質の高い行政サービス

- ・執務室は課室の仕切りのないオープンフロアを採用
- ・高速通信可能な庁内ネットワーク環境を整備
- ・職員に加え地域の方も利用可能な保育所を設置

災害対策本部



オープンフロア形式の執務室



県民が集い親しまれ、地域の魅力を発信する県庁舎

親しみやすく利便性の高い庁舎

- ・来庁者エリアに木やタイル、和紙を使用
- ・外壁に木肌の色合いの木目調PCパネルを使用
- ・来庁者の多い総合窓口や便利施設を低層階に配置
- ・県民参加の講演会等にも活用できる県民ホールを設置
- ・来庁者エリアに公衆無線LAN（Wi-Fi）を整備
- ・庁舎前スペースと公園との繋がりをもち、一体的に活用

エントランスホール



地域の魅力を発信

- ・魅力的な地域資源を紹介するギャラリーを設置
- ・デジタルサイネージによる情報の発信
- ・360度見渡せる展望ロビーを設置

展望ロビー



ユニバーサルデザイン

- ・安全でスムーズな移動ができる動線を設定
- ・多目的トイレや、授乳室を設置
- ・議場に、車椅子使用者傍聴スペースや手話通訳モニター、親子傍聴室などを設置

環境やライフサイクルコストに配慮した県庁舎

省エネルギー・省資源対策

- ・断熱・遮蔽性能の高い窓ガラスの導入
- ・屋内外の温度差を利用した室内換気方式の採用
- ・豊富な地下水を雑用水として使用
- ・雨水を植栽散水に利用
- ・効率的な設備運転を行うビルエネルギー管理システム（BEMS）を導入

ライフサイクルコストの低減・長寿命化

- ・LED照明や長寿命型蓄電池の導入
- ・PCパネルや乾式施工によるタイルを外壁に使用
- ・設備の維持管理スペースを十分に確保

再生可能エネルギーの活用

- ・太陽光発電、地中熱や太陽熱の活用

建築物の環境性能評価

- ・建築環境総合性能評価システム（CASBEE）で最高「Sランク」
- ・建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）で「四つ星」

